

開設講習名	【選択】通常学級に在籍する 神経発達障害児の理解と対応		講 師	木谷 秀勝	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開 設 日	平成 29 年 12 月 10 日		時間数	6 時間	受講予定人数 50 人
受講者募集期間	平成 29 年 9 月 26 日～平成 29 年 10 月 4 日		履修認定時期	平成 30 年 1 月 15 日まで	
履修認定対象職種	教諭, 養護教諭	主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭, 養護教諭		
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			
<p>【到達目標】 特別支援教育を効果的に進めるための基本的な視点を理解するとともに、授業支援に必要な留意点を明確にできるようになること。</p>					
<p>【講習の概要】 講習の進め方としては、以下のように計画している。</p> <p>(1) 神経発達障害児の基本的な特徴 通常学級に在籍する神経発達障害児（自閉症スペクトラム障害、限局性学習障害、注意欠損多動性障害、等）の基本的特徴を理解する。</p> <p>(2) 小学校段階の発達の特徴と必要な支援 幼児期から 10 才前後までの発達の特徴を理解するとともに、学習や対人関係の基礎を作るための支援のポイントを考える。</p> <p>(3) 中学校・高校の発達の特徴と必要な支援 思春期から青年期までの発達の特徴を理解するとともに、学習や対人関係を広げるための支援のポイントを考える。</p> <p>(4) 心理アセスメントの基本的理解と活用方法 心理検査として活用される WISC-IV 知能検査の基本的な視点を理解するとともに、その結果をどのように実践に活用するかを事例を紹介しながら考える。</p> <p>(5) 質疑応答 実際の学校での取り組みの中で、困っている問題や対応についてのグループ討論のうえ、質問を受けます。</p>					
<p>【評価の方法・評価基準】 評価の方法：筆記試験 評価基準：講義の内容を理解し、適切な説明が可能であること。事例を通した授業支援の方向性を正しく説明できること。 不合格：上記以外</p>					
<p>【テキスト・参考文献】 事前にテキスト(資料)を配布予定。</p>					
<p>【受講者への伝達事項】 心理検査等の専門的知識は必要としません。特別支援教育への取り組みへの熱意がある先生方の参加を期待します。</p>					